

現代海上火災

日本支社設立 50 周年記念祝賀会開く

業界トップらが祝福、次の 100 年へ新たな門出

現代海上火災保険は 9 月 30 日、東京都千代田区のパレスホテル東京で日本支社設立 50 周年記念祝賀会を開いた。会場には日韓両国の保険・金融業界の経営トップや幹部をはじめ、再保険会社、保険ブローカー、当局・業界団体、韓国大使館、在日韓国企業、報道機関など幅広い関係者 230 人超が来場。同社が半世紀にわたり培ってきた信頼とネットワークを示す顔ぶれが一堂に会し、日本支社設立 50 年の歴史を振り返るとともに、次の 100 年に向けた新たな門出を祝った。

祝賀会は、現代海上火災保険会長の鄭夢允氏による開会あいさつで幕を開けた。鄭会長は、同社が 1976 年に日本市場に足を踏み出して以来、顧客やパートナーとの信頼関係を築きながら成長してきた歩みを振り返り、「現代海上日本支社は韓国と日本をつなぐ確かな架け橋へと成長した」と強調。「保険業において最も大切な価値は

人に対する礼節と献身」とした上で、日本語の「絆」という言葉を引用し、「これからも変化する時代の中でお客さまの声を真摯（しんし）に耳を傾け、信頼される保険サービスを通じて期待に応えていく。お客さまとご縁を何より大切に

し、礼節と献身の心をもつて末永く寄り添うパートナーであり続けたい」と述べた。来賓を代表して祝辞を述べた駐日韓国特命全權大使の李赫氏は、現代海上が日本市場への進出以来、一度も撤退することなく日韓両国の経済・金

融交流に貢献してきたことを高く評価した。加えて、2011 年の東日本大震災の際に同社日本支社が現地にどどり、顧客に寄り添い続けたことに触れ、「50 年間、いかなる状況においても日本社会とともに歩みながら築き上げた信頼は何にも代えがたい財産だ」と称賛した。その上で、少子高齢化や気候変動、自然災害など日韓共通の課題への対応において保険業界が果たす役割は大きいとして、同社が今後も金融・経済分野における日韓協力の架け橋となるこ

り越えながら確固たる基盤を築いてきた現代海上に敬意を表することも、日本支社設立時に前身の住友海上火災が支援したことを契機に、再保険取引や海外進出企業向けの保険サービスなどを通じて両社が関係を深めてきた経緯を紹介。「気候変動やサイバーリスク、地政学リスクなど新たな課題が広がる中、お客さまへの貢献を高めるため、両社の連携を一層深め、交流の拡大を通じて信頼関係をさらに強固なものにしていきたい」と述べた。

会場は終始華やかな雰囲気にも包まれた

社が歩んできた 50 年の軌跡を参加者とともに振り返ることができた喜びを語るとともに、「お客さまに最高の価値を提供することを最優先に、日本市場における事業基盤をさらに強固なものにしていく。日本市場への進出以来培ってきた『信頼されるパートナー』という中核的な価値を次の 50 年にも変えることなく受け継ぎながら、お客さまや関係者の皆さまの期待に応え続けていきたい」と決意を表明した。

日韓保険市場の架け橋として半世紀

とに期待を寄せた。続いて、MS&AD インシュアランスグループホールディングス取締役会長・会長執行役員の原典之氏が乾杯の音頭を取った。原氏は、50 年にわたり事業環境の変化を乗

したことを契機に、再保険取引や海外進出企業向けの保険サービスなどを通じて両社が関係を深めてきた経緯を紹介。「気候変動やサイバーリスク、地政学リスクなど新たな課題が広がる中、お客さまへの貢献を高めるため、両社の連携を一層深め、交流の拡大を通じて信頼関係をさらに強固なものにしていきたい」と述べた。



鄭会長



李大使



原会長



李社長

閉会に当たり、現代海上火災保険代表取締役の李碩鉉氏がいさつに立った。李社長は、日本支

社が歩んできた 50 年の軌跡を参加者とともに振り返ることができた喜びを語るとともに、「お客さまに最高の価値を提供することを最優先に、日本市場における事業基盤をさらに強固なものにしていく。日本市場への進出以来培ってきた『信頼されるパートナー』という中核的な価値を次の 50 年にも変えることなく受け継ぎながら、お客さまや関係者の皆さまの期待に応え続けていきたい」と決意を表明した。